

# openstack

Open source software to build public and private clouds.

## OpenStack Dashboard(and Identity)

- 動く!?! OpenStack -

2012.05.12

日本 OpenStack ユーザ会

Hideki Saito / @saito\_hideki



- はじめに
- OpenStack Dashboard(horizon)
- 動く!? OpenStack
- まとめ

Q「OpenStackってホントに動くの!?!」

A「え!?!...う、うごく...動くよ...」

ここでは、OpenStackの各コンポーネントを利用して管理対象となる様々なリソース(仮想マシンやストレージなど)を管理する際の操作について、WebUIでのデモを交えながらご紹介します。

OpenStack がユーザ向けに提供している操作インターフェイスには CLI と WebUI の 2 種類があります。

- **CLI**

コマンドラインインターフェイスは、各コンポーネントがそれぞれ提供している。

- **WebUI**

Essexからコアコンポーネントに加わった。  
各コンポーネントのAPIと連携してOpenStack操作するためのWebUIを提供する。

# OpenStack Dashboard



The screenshot shows the OpenStack Dashboard interface for 'Instances & Volumes'. The browser address bar shows the URL `http://210.128.16.69/nova/instances_and_volumes/`. The page is logged in as 'mos'.

### Instances & Volumes

Logged in as: mos [Settings](#) [Sign Out](#)

#### インスタンス

[イメージを起動します。](#) [削除 インスタンス](#)

<input type="checkbox"/>	Instance Name	IP Address	Size	ステータス	Task	Power State	アクション
<input type="checkbox"/>	test01	172.16.100.3	512MB RAM   1 VCPU   0 Disk	Active	None	Running	<a href="#">Edit Instance</a>
<input type="checkbox"/>	test00	172.16.100.4	512MB RAM   1 VCPU   0 Disk	Active	None	Running	<a href="#">Edit Instance</a>

Displaying 2 items

#### ボリューム

[Create Volume](#)

<input type="checkbox"/>	名前	説明	Size	ステータス	Attachments	アクション
No items to display.						

Displaying 0 items

**openstack** DASHBOARD

Project: Admin

PROJECT: system

Manage Compute

概要

Instances & Volumes

Images & Snapshots

Access & Security

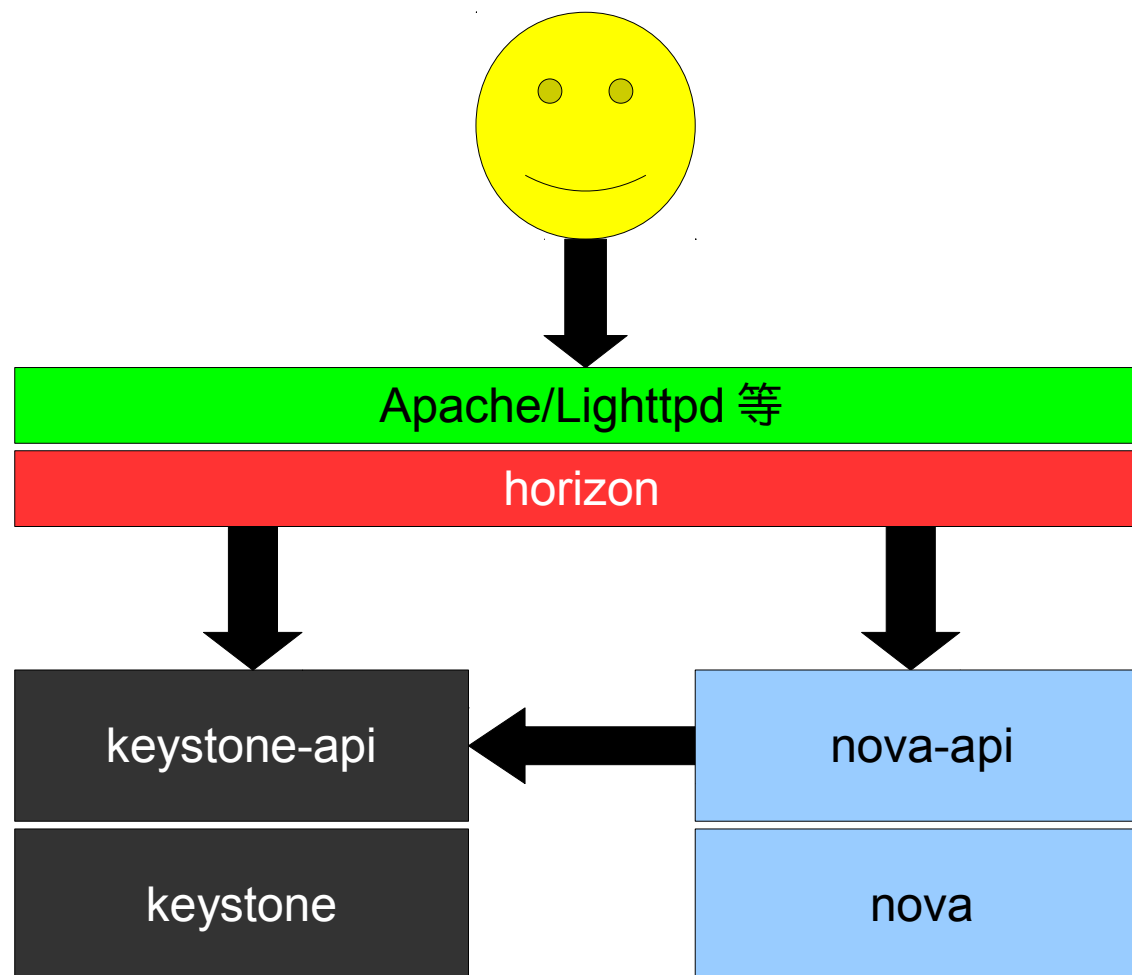


見た目も洗練されていて、結構使いやすいのですが ... しかし、この WebUI を利用するには、

”WebUIの管理対象となる機能を提供するコンポーネントが、OpenStack Identity(keystone)による統合認証システムを利用している必要がある。”

という知る人ぞ知る、非常に高い壁があります。

# Dashboard と Identity の関係



UserId/Password の組で keystone で認証を受け、  
その際に発行されるトークンを取得する。  
以降はトークンベースで許可された操作が可能。

## デモ内容

1. VMインスタンス作成
2. Volume作成とVMへの接続
3. VMのクローニング



# VM インスタンス作成



# Volume 作成と VM への接続



# VM のクローニング



OpenStack Dashboard(horizon)  
は、OpenStack が提供する様々な機能を管理するための WebUI を提供します。

Python で書かれた Web アプリケーション・フレームワークである、Django 上に構成れており、単体で動作させることも、Apache/Lighttpd などの Web サーバのバックエンドとして動作させることも可能です。

---

管理対象となるコンポーネントでは、  
独自のユーザ認証方法ではなく、  
**OpenStack Identity** による統合認  
証  
機能を利用しなければなりません。  
#ココが厳しい ...

# Special Thanks



本日のデモ環境はコンテナ DC から提供しています。



# Special Thanks

---



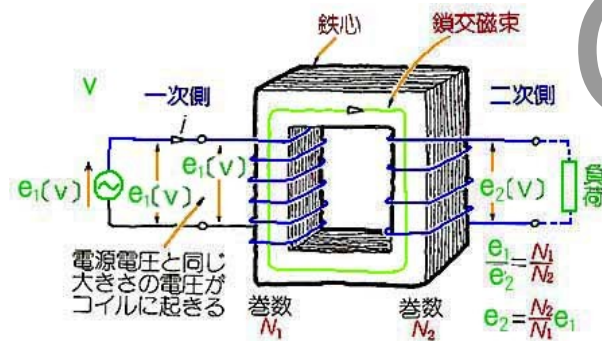
OSC Nagoya 向け OpenStack デモ環境提供





# Special Thanks

ご清聴ありがとうございました m(\_\_)m



# Openstack JAPAN